

半兵衛公の居城現る！ 菩提山城跡発掘調査を実施



▲菩提山城跡発掘調査 主郭(本丸) 礎石の様子



▲菩提山城イメージ図 画：香川元太郎
監修：滋賀県立大学名誉教授 中井均

令和6年、7年で行われた菩提山城跡の発掘調査によって、山頂の主郭(本丸)から、竹中半兵衛公が造ったと思われる礎石建物の跡を確認しました。

これまで、菩提山城は戦時の際、籠城して守りを固める「詰城」と考えられてきましたが、礎石建物が見つかったことで、普段から城主が住む「御殿」を持つお城である可能性が高まりました。

また、現在見ることができる城跡の大部分は半兵衛公の時代に造られた可能性が高いことも分かり、居住施設である「御殿」と堀などの技巧的に造られた防御施設が併存する、全国的にも非常に珍しく、貴重なお城であることが分かってきています。

このように、発掘調査で明らかになりつつある菩提山城の姿は、稀代の名軍師であった半兵衛公の居城に相応しいお城だといえるでしょう。

今後も調査を進めていく予定ですので調査成果にご期待ください。

多くの遺物現る！



▲菩提山城跡出土遺物

発掘調査では多くの遺物が出土しています。かわらけ(素焼きの皿)、国産陶器(天目茶碗、播鉢、瀬戸美濃灰釉皿)、碁石、鉄製品(刀、釘)、古銭などがあり、日常的に生活が行われていたことが分かります。また、当時は大変貴重だった中国産陶磁器(染付碗、青磁、白磁)も多く見つかったことから、山頂の御殿でこれら高級陶磁器を用いて各地の武将をもてなし、調略していく、半兵衛公の姿が想像できるかもしれません。



竹中半兵衛現る！

問 タルイピアセンター ☎23-3746

現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」に垂井町の郷土の偉人、竹中半兵衛公が登場しました。半兵衛公は、天下人豊臣秀吉の軍師として著名ですが、垂井町には、半兵衛公の居城「菩提山城」や江戸時代に半兵衛公の息子重門公が造った竹中氏陣屋跡など、ゆかりの地が数多くあります。

また、菩提山城については、令和5年度から国史跡を目指した調査を行っており、発掘調査などで今まで分かっていなかった歴史的な発見が相次いでいます。

学芸員と行く！竹中半兵衛を巡るツアー



3月1日に半兵衛公のゆかりの地をめぐるツアーを開催しました。半兵衛公が城主だった菩提山城跡や竹中氏の菩提寺である禅幢寺、竹中氏の歴史を紹介する菁莪記念館を巡るこのツアーに町内外から28人が参加。菩提山城跡ではタルイピアセンターの学芸員から最新の発掘調査結果について説明を聞き、往時の城の姿に思いを馳せていました。